

2026年度 正会員に対する活動助成 申請概要

※ 各県士会からの申請書から抜粋・要約し作成

	県士会	応募部門	活動名称	活動概要	主な支出項目
1	新潟	組織率向上	U-25（アンダー25）つながり継続プロジェクト	- 希望する学生に「みらい会員」として登録（無料）していただく制度を2018年度から実施していたが、卒業と同時に登録が終了するため、その後のつながりや働きかけができておらず、卒後、国家試験に合格しても、正会員入会員につながりにくい状況になっている。 - 若手会員が組織に定着するための「U-25（アンダー25）つながり継続プロジェクト」を実施します。「みらい会員」制度から地続きで、卒後の若手層と社会福祉士会の関係性を継続させる。 「U-25 体験パスポート」を作成・導入します。このパスポートを用いて、卒業後から25歳までの期間に会の様々な活動（インプット・アウトプット・リフレクション）へ継続的に参加してもらい、社会福祉士会に所属する「価値」と「安心感」を実体験してもらう仕組みを構築する。	1 広報媒体製作費 2 印刷費 3 若手社会福祉士向けサイト設置費用 4 U-25 体験パスポート製作費 5 企画会議費
2	京都	組織率向上	ホームページのリニューアルと広報力向上	- 新規会員（特に若年層）の獲得が困難な状況にあり、これは全国の県士会に共通する課題である。 - 非会員社会福祉士の入会促進と現会員の退会抑制を目的として、ホームページのリニューアルを計画。これは、外部の専門事業者による制作代行ではなく、「京都社会福祉士会が主体となって制作し、専門事業者が設計・品質管理・技術支援・運用モデル構築の面で伴走する」という広報力の向上と標準化を図るものであり、これによって自走できる広報体制を構築する。また、このプロセス	1 HP 作成 2 デザイン作成費 3 作成スタッフ活動費用

	県士会	応募部門	活動名称	活動概要	主な支出項目
				を全国の県士会との共有可能なモデルとして整理し、全国的な組織率向上に寄与することを目指す。 ・若年層が関心を持つよう、ホームページのリニューアルは若手の会員を中心に実施していく。	
3	兵庫	組織率向上	(会員向け)社会福祉士会活動ガイドブック作成	・会員が、社会福祉士会は専門職としての倫理や資質向上を支える役割を担っていることの意義を十分に理解し、会の活動を自分ごととして捉えるためには、入会初期の段階での丁寧な情報提供と伴走的な支援が重要である。 ・「入会後の会員活動のガイドを可視化し、誰もが理解しやすい形で提示すること」が会員定着と活動活性化の鍵であると考え、これまで内容の整理や構成の検討を重ねてきた。会員が自らの関わり方を選択しやすくなるよう、活動の流れや参加方法を体系的にまとめることは、会全体の活力向上にも直結する重要な取り組みである。 ・ガイドブックとしてのツールを作成し、新規会員が入会直後から会の理念・活動内容・参加のステップを理解できる環境を整備することが急務である。	1 デザイン・編集費 2 編集会議 謝金 3 交通費 4 印刷費
4	岡山	事務局機能強化	持続可能な事務局体制の確立に向けたクラウド勤怠管理システムの導入	・クラウド勤怠管理システム「KING OF TIME」と「指静脈認証」を導入し、事務局運営をデジタル化する。	1 生体認証端末 2 ノート PC
5	大分	事務局機能強化	事務局体制の確立及び事務局員の確保及び定着等を図るためにメインシステムの変更と再構築（キントーンの導入）	・キントーン導入による事務局機能の強化と DX 化による事務局体制の再構築 ・パート職員でも対応できる事務を目指し、安定的な事務局員の確保と定着を図る。	1 初期構築準備作業（初期費用）